

## 基本情報

### 指標番号

2114

### 名称

大腿骨頸部骨折の早期手術割合

### 分母

大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨折の手術を受けた症例

### 分子

分母のうち、入院2日以内に手術を受けた症例数

### 指標群

整形外科

### 意義

適切な手術時期

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

### 必要データセット

DPC 様式 1

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする。
2. このうち、大腿骨頸部骨折の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名の ICD-10 コードが下記に含まれる症例

ICD-10 コード	病名
S7200	大腿骨頸部骨折 閉鎖性
S7201	大腿骨頸部骨折 開放性

3. このうち、大腿骨頸部骨折に対する手術が行われている症例。手術1の K コードが下記に含まれる症例。

手術コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
K0441	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○	○	○
K046-21	観血的整復固定術（インプラント周囲骨折に対するもの） 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○	○	○
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	○	○	○	○	○	○	○
K0611	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○	○	○
K0631	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	○	○	○	○	○	○	○
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	○	○	○	○	○	○	○
K0821	人工股関節置換術	○	○	○	○	○	○	○

手術コード	手術名	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
K083	鋼線等による直達牽引（初日。観血的に行った場合の手技料を含む。）（1局所につき）	○	○	○	○	○	○	○

4. 入院後2日以内の死亡症例を除く。退院時転帰の値として入院後2日以内に以下のいずれかが入力されている症例を除外する

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

1. 分母で同定された手術が、入院から2日以内（入院日を1とする）に施行されている症例

### その他

#### 薬剤一覧の出力

いいえ

#### リスク調整因子の条件

#### 指標の算出方法

分子÷分母

#### 指標の単位

パーセント

#### 結果提示時の並び順

降順

#### 測定上の限界・解釈上の注意

1. ガイドラインではできる限り早期の手術を推奨する（Grade B）

### 参考資料

#### 参考値

#### 参考資料

1. 大腿骨頸部／転子部骨折診療ガイドライン 改訂第2版